



## 特集

- 蔵書検索システムのご案内
- 平成20年度事業計画・予算
- セレサ川崎農業協同組合から地域福祉の推進に寄付
- 福祉基金への寄付にご協力ください
- 福祉のお仕事、見つかります！  
「第2回福祉施設等就職相談会」
- 補聴器とコミュニケーションの講座
- 地域福祉コーディネイト技術研修
- 資格にチャレンジ！ホームヘルパー養成研修

## 福祉の本がご自宅で探せるようになりました!!

### ～蔵書検索システムのご案内～

以前より川崎市社会福祉協議会では福祉に関する図書資料およびビデオの貸出しを行っておりますが、もっと使いやすく多くの方が利用しやすいようにインターネットによる蔵書検索システムを導入いたしました。(詳細は3面)



この画面から、  
検索できるんだね。



## 橋

### 「会発足5年目を迎えて」

2003年9月、社協主催「グッドネイバース研修」に参加した11名の有志により「のんのん会」が誕生致しました。

のんびり呑気に息切れすることなく、会員相互の親睦を深め、地域福祉のために何をすべきかを念頭に、まずは情報収集、勉強、健康づくり等を目的とし、要望に応じて出来る範囲内でボランティア活動を始め、早くも5年目の節目を迎えました。

当初は何から始めて良いのか見当もつかず、会は何時ともなく雲散霧消と化してもおかしくない危うさもありました。しかし会員個々の資質の良さ、こだわりのない柔軟な思考力と行動力、それぞれの経験、趣味、特技を最大限に活かした地域での活動と、それらの情報提供、話し合い、研修等にて

会のレベルアップを計る結集の場として、毎月1回例会を社協にて開催することを決め、励行継続してきたおかげで未だ存続していると思っております。

のんのん会としてのボランティア活動はメンバー全員の総意により決定し、赤い羽根共同募金運動への参加、宮前フェスティバルにおける区社協主催映画会の手伝い、特養老人ホーム入居者の娯楽のための企画・演出等による活動は年中行事となりつつあり、回を重ねるうちに自然体で溶け込んでいく事が出来る様になりました。

今後も広い視野にて活動を見直し、体験学習を重ね健康を維持し、明るく生き活きと、より豊かな地域福祉に少しでも役立てられる様な活動を続けられれば幸いですと思っております。

のんのん会 代表 野田 精一

## 平成20年度 事業計画

近年、社会を取り巻く環境が大きく変化し、川崎市においては大規模マンションの建設や市街地の再開発が全ての区にわたって進められています。それに伴い、新たな人口の増加が見込まれる中で、多様化する福祉ニーズに対応する様々な事業の推進や地域福祉のネットワーク化を図ることが求められています。これらのニーズに総合的に対応するため「川崎市総合福祉センター」が整備され、平成19年3月から本会事務局の移転により、地域福祉推進の新たな拠点としてスタートいたしました。

本年度も地域福祉ネットワークの中核として活動するとともに、誰もが地域で安全で安心して暮らせるまちづくりを目指し、あんしんセンター事業(日常生活自立支援事業)を全区で展開するなど各区社会福祉協議会をはじめとする社会福祉関係団体との連携を密にし、積極的に事業を推進してまいります。

一方、国や自治体の財政状況は、大変厳しい状況が続いています。本会の財政状況もますます厳しいものとなって

おり、持続可能な安定した組織基盤の整備と現状に応じた財務運営の確立が急がれるところです。その一つの方策である歳入の拡大については、居宅介護支援等事業の見直しです。良質なサービス提供を維持しつつも収益増に繋がるよう業務体制を見直し、効率的な運営に努めなければなりません。また、本会の資金運用においては、より安全で効率・効果的な運用が必要です。さらには、会員会費の見直しも検討するなど安定して事業を実施していくための財源確保については、最大限努力してまいります。

もう一つの方策である歳出の削減については、適正な職員配置と事務事業の再点検を行い、職員給与体系の見直しによる人件費の抑制を検討し、安定した財務運営の確立に努めてまいります。

このような状況を踏まえつつ、平成19年度からスタートした「第2期地域福祉活動推進計画」の計画達成のため、次の重点項目を掲げ各種事業に取り組んでまいります。

### 重点項目

#### 1 「住民主体の原則」に基づく、強固な組織基盤の整備

本会の会員組織等については、「会員及び会費制度等検討委員会」において、本会の役割、会員の種類と責務・権利、会員の種別・範囲、会費額等についての協議を重ねております。本年度は、各部会等の意見も参考にした委員会の検討報告に基づき、社会福祉関係の法改正等の動向も見据えながら、新制度に向けて調整してまいります。

#### 2 複雑化する福祉問題に対応し、市民の声を集約できる機能的な事業体の構築

地域福祉情報バンク事業については、関係情報の収集・管理・配信を行うためのシステムづくりを進め、福祉情報提供の一層の充実を図り、ふくし相談や障害者110番等の総合相談事業の円滑な実施と相談事業のノウハウを生かして、福祉援助職等への支援を検討します。

災害時への取り組みについては、川崎市・かわさき市民活動センターとの災害協定に基づく仕組みづくりや災害発生時対応マニュアルの作成とその活用について検討するとともに、関係機関との連携、職員の育成に取り組めます。

また、本会職員で構成する企画調整会議(仮)を設置し、福祉ニーズを的確に捉え、かつ財政状況に見合った地域福祉の推進体制を構築することを目指し、事業及び組織の見直しの検討を行います。

#### 3 多様化した福祉ニーズに対応し、また継続的に良質な福祉サービスの提供を行うための福祉人材育成の強化

川崎市総合福祉センター及び高齢社会福祉総合センターの研修事業と福祉人材バンク事業と連携し、効果的に事業を進めるとともに継続的に質の良い福祉サービスの提供を行うための福祉人材養成を行います。

#### 4 川崎市内の協議体・運動体としての事業構成、効率的な事業展開の徹底

川崎市あんしんセンターで実施している「日常生活自立支援事業(旧地域福祉権利擁護事業)」を地域においてより身近なものとして利用できるよう、各区社会福祉協議会において事業を実施し、円滑な事業推進が図れるよう積極的な支援を行います。

居宅介護支援等事業においては、居宅サービス事業者としての位置づけを明確にし、継続かつ安定した質の高いサービス提供のため、経営基盤の強化、事業体制や職員配置の適正化を図るとともに、人材養成事業によるヘルパーの確保に努めます。

#### 5 財務運営体制の確立

厳しい財政状況の下、安定した法人運営を維持するため、居宅介護支援等事業において収益増となるよう事業の見直しを行います。各種積立預金からの果実収入は、安全で最も有効な資金運用を行い財源確保に努めます。

また、事務事業の点検を徹底するとともに、職員の適正な配置や職員給与体系の見直しを図り、人件費の抑制と歳出削減に努めます。

## 平成20年度事業別予算

単位：千円

NO	事業種別	予算額	備考
1	法人運営事業	674,183	法人運営事業費、運用資金積立事業費、退職金積立事業費
2	調査・研究事業	400	地域福祉活動推進計画事業費、委員会費制度検討委員会経費
3	研修事業	491	職員研修事業費
4	企画・広報事業	290	社会福祉大会経費
5	連絡・調整事業	1,734	交通災害遺児交流会事業費、福祉医療機構事業費
6	区社協推進事業	185,598	区社協への事業費・事務費等
7	助成事業	28,028	ふれあい活動支援事業等各種助成金
8	部会・委員会事業	5,640	各種部会・委員会等経費
9	民生委員互助共励事業	4,495	民生委員児童委員研修事業費、民生児童委員互助給付
10	福祉基金運営事業	7,300	福祉基金果実利用による助成事業に伴う基金積立事業
11	資金貸付事業	200,953	振興資金貸付事業費
12	共同募金配分金事業	98,420	広報活動費・区社協活動費等
13	指定管理事業	405,424	聴覚障害者情報文化センター事業費・高齢社会福祉総合センター事業費・総合福祉センター事業費
14	受託事業	670,337	老人いこいの家受託事業費・福祉パル受託事業費・学校施設活用型デイサービス受託事業費・福祉人材バンク受託事業費・生活福祉資金貸付業務受託事業費・第三者評価受託事業費・福祉サービス受託事業費・地域包括支援センター受託事業費
15	第三者評価事業	5,000	
16	ボランティア活動振興事業	14,848	
17	日常生活自立支援事業	122,309	金銭管理サービス事業費、書類等預りサービス事業費、成年後見事業費
18	居宅介護等事業	1,434,172	訪問介護・居宅支援・障害者自立支援等ヘルパー派遣事業費
19	高齢者外出支援乗車事業	1,679,260	高齢者フリーパス交付等事業
	合計	5,538,882	

## セレサ川崎農業協同組合から地域福祉の推進に寄付

去る3月31日、セレサ川崎農業協同組合から、本会の福祉基金に4,090,964円を寄付していただきました。

これは、平成19年度に、セレサ川崎農業協同組合が主催した「JAセレサ川崎感謝の集い」などの各イベントにおいて、組合員や参加者の方々などに地域福祉の推進のために募金を呼びかけ、集めていただいたものです。

寄付金は、本会の福祉基金に積立し、市内の様々な福祉活動やボランティア活動の推進など、市民の社会福祉の参加促進と地域福祉の向上に活用させていただきます。

(写真)セレサ川崎農業協同組合 高桑光雄代表理事組合長からご寄付が手渡され、川崎市社会福祉協議会 齊藤二郎会長から感謝状が贈呈されました。



## ～福祉基金への寄付にご協力ください～

## 福祉基金とは？

川崎市社会福祉協議会では、市民、企業からの寄付金と行政からの補助金等を基に、3億円を目標に積み立てています。その果実により、様々な福祉活動、ボランティア活動の推進等、市民の社会福祉への参加と福祉向上を図ってまいります。現在、在宅福祉サービス、障害者・児支援、福祉教育、調査研究、ボランティア活動推進、小地域福祉活動の6事業と、その他先駆的・開拓的な事業を加えた7事業に対して助成をしています。

※平成20年度福祉基金助成金の助成団体については秋ごろ募集をいたします。

## 蔵書検索システムのご案内

今回導入しました蔵書検索システムは、インターネットを通じてご自宅等のパソコンから資料を検索することが可能となり、わざわざ足を運ばなくても所蔵している資料の情報を得ることが出来ます。

また、タイトル、著者名、ジャンル、出版年、キーワードなどから検索することができ、探したい資料が見つけやすくなっています。福祉について学びたい方、福祉の仕事に従事している方など、専門書も多く取り揃えておりますので、是非ご利用ください。

詳しい利用方法については右記アドレスへアクセスしていただくか、直接窓口へおたずねください。

## 地域福祉情報バンク

<http://www.csw-kawasaki.or.jp/welfare/lib.html>

中原区上小田中6-22-5

川崎市総合福祉センター（エポックなかはら）6階

TEL 044-739-8720

## 川崎市高齢社会福祉総合センター

<http://www.kourei-c.jp/search/>

多摩区長沢2-11-1

TEL 044-976-9001

※資料によって保管場所が異なります。必ずご確認の上お越しください。

## 福祉のお仕事、見つかります！

川崎市社会福祉協議会 川崎市福祉人材バンクでは「第2回福祉施設等就職相談会」を開催いたします。川崎市内で福祉事業を展開し、平成20年度中又は21年4月に採用予定がある様々な法人の人事担当者と直接面談が出来ます。また、専門相談コーナーも設けています。

様々な福祉の職場について知るチャンスです！福祉の仕事に関心がある方は、是非ご参加ください。（※採用面接ではありません。）

## 「第2回福祉施設等就職相談会」

日時 9月20日（土）13：00～16：30

12：30より資料配布、受付は15：50終了

会場 川崎市総合福祉センター（エポックなかはら）7階

JR南武線「武蔵中原」駅 徒歩1分

※駅より直結の連絡通路有り

☆予約不要・参加費無料

問合せ 川崎市福祉人材バンク

TEL 044-739-8726 FAX 044-739-8740

## 補聴器とコミュニケーションの講座

「聞こえにくい」「聞こえない」ことでお困りではありませんか？

補聴器の使い方に不安がある どの補聴器がいいか迷っている  
 テレビの音が聞こえにくくて楽しめない、電話が鳴ると不安・・・  
 家族や近所の方と話が通じなくて、さみしい気持ちになっている・・・など

「聞こえ」にお悩みの方やそのご家族、周囲の方々を対象に、全4回の講座を年2回開催します。  
 補聴器についてのわかりやすいお話や、聞こえを補う様々な方法や工夫について紹介します。  
 コミュニケーションをもっと心地よく、楽しくしましょう！ ぜひご参加ください。

日時 (予定)	回	内容
10月中 木曜日 午後  ※第2弾は 平成21年2月中 金曜日午前開催予定 (第1～4回)	第1回	補聴器講座：補聴器の基本的な知識、機種、利点と欠点、利用目的に合った補聴器の選び方や上手な使い方などを学びます。
	第2回	補聴器についての質問を受け、疑問にお答えします。 【講師：障害者更生相談所 言語聴覚士 真後理英子氏】
	第3回	社会との関わりを上げましょう。困ったことを話し合ってみましょう。 体験談・読話・手話・補聴機器の利用・要約筆記通訳の利用・福祉制度
	第4回	【協力：川崎市中途失聴・難聴者協会 読話・手話勉強会 川崎市登録要約筆記者協会・ワールドパイオニア】 ※聞こえにくい方に講座の内容がわかるよう準備をします。(要約筆記)

問い合わせ 川崎市聴覚障害者情報文化センター (井田老人いこいの家 2階)  
 最寄駅 東急東横線・元住吉駅下車 徒歩10分  
 〒211-0037 川崎市中原区井田三舞町14-16【月曜休館】  
 TEL 044-798-8800 FAX 044-798-8804  
 ホームページ <http://home.s06.itscom.net/k-joubun/>

## 地域福祉コーディネーター技術研修 (地域活動者コース)

日程：7月15日(火)・22日(火) 9:30～16:30  
 ※2週連続 (15日は16:00終了予定)  
 会場：川崎市総合福祉センター (エポックなかはら) 6階 研修室  
 内容：地域福祉推進の動向と地域社会の状況、川崎市における地域福祉活動実践の事例、地域課題解決の実際、地域アセスメント、地域福祉活動コーディネーター技術 他  
 講師：田園調布学園大学 教授 小野敏明 氏  
 ボランティアグループ 「すずの会」  
 代表 鈴木 恵子氏

形式：講義とグループワーク  
 対象：地域福祉に関する活動を概ね3年以上されている方(町会活動をされている方、民生委員児童委員、NPO、ボランティア等)  
 定員：25名  
 受講料：無料  
 申込：電話にて受付の後、所定の受講申込書記入の上FAXまたは郵送にて  
 問合せ：川崎市社会福祉協議会 福祉人材バンク  
 TEL 044-739-8726 FAX 044-739-8740

## 資格にチャレンジ！ホームヘルパー養成研修 (2級課程)

日程：平成20年8月27日から10月10日までの原則月・水・金の講義・演習計20日間および10月14日から11月14日までの間で現場実習4日間、閉講式11月21日  
 ※受講決定者に8月6日事前説明会実施  
 ※全日程の出席が必須です。  
 会場：講義：川崎市総合福祉センター (エポックなかはら) 他  
 演習：YMCA福祉専門学校 (多摩区登戸)

定員：40名 (最低開講人数20名、定員超過の場合は抽選)  
 受講料：50,000円 (テキスト代含)  
 申込：7月1日から7月29日17時必着  
 申込書は各福祉パルに設置または本会ホームページ (アドレスは1面) に掲載しています。  
 問合せ：川崎市社会福祉協議会 介護支援課  
 TEL 044-739-8712 FAX 044-739-8737

### 福祉のお仕事を紹介しています

本会川崎市福祉人材バンクでは福祉のお仕事を紹介しています。介護職員、支援員・相談員、ホームヘルパー、看護職員など福祉関係の求人を取り扱っております。川崎市内の福祉関係のお仕事をお探しの方、職員の募集をお考えの事業所様はお問い合わせください。

川崎市総合福祉センター5F  
 TEL 044-739-8726 FAX 044-739-8740  
 開所時間 9:00～17:00  
 受付時間 9:00～11:45・13:00～16:30  
 開所日 月～金曜・第1土曜  
 詳細は電話でお問い合わせいただくか、本会ホームページにて。(アドレスは1面)

### ● 見に来ませんか？福祉用具！ ● 借りてみませんか？福祉ビデオ！



● 本会川崎市高齢社会福祉総合センターでは福祉関係書籍1000冊以上、ビデオ500本以上の貸出し(無料)や、福祉用具の展示を行っています。インターネットで、蔵書資料(図書・ビデオ等)の検索ができます。また、福祉に関する様々な研修(一般・専門職向け)も実施しています。

● 多摩区長沢2-11-1  
 ● TEL 044-976-9001 FAX 044-976-9000  
 ● 詳細は電話でお問い合わせいただくか、本会ホームページにて。(アドレスは1面)

8月16日(土)は、川崎市総合福祉センターは電気設備点検のため全館休館いたします。

